

高知県感染症発生動向調査（週報）

2015年 第3週 （1月12日～1月18日）

★お知らせ

インフルエンザ・警報値！

- ◆ 県全域、更に増加し2週連続で警報値に！
- ◆ 定点医療機関迅速検査情報ではA型98%、B型2%
（病原体検出情報：Influenza virus AH3（A香港）9例、Influenza virus B 1例）
- ◆ 感染力は大変強く、集団生活の場では特に注意が必要！（学校などにおける集団発生が増加）
- ◆ 予防法は手洗い、うがい、咳エチケット！

第3週の学校等における集団発生（感染症情報収集システム）

保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
休校		1	1			
学年閉鎖	2				2	1
学級閉鎖		2	8			3

○感染性胃腸炎に注意して！

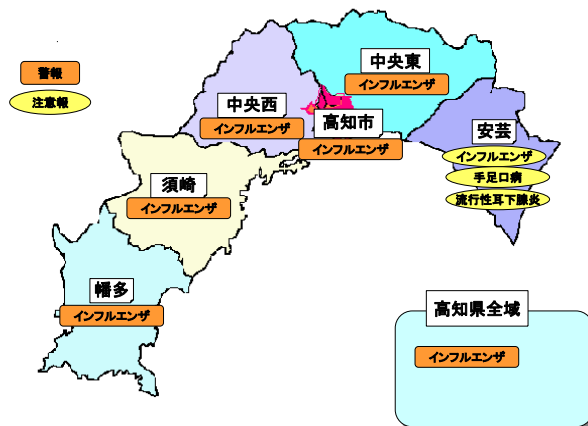
定点医療機関からの報告数は先週の6.80から7.27とほぼ横ばいです。ノロウイルスは感染力が大変強く、学校や社会福祉施設など集団生活の場では特に注意してください。外出後や調理・食事の前、トイレの後には手洗いを励行し、消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを使用するか、85℃以上で1分以上の加熱が必要です。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）
↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↗	49.65	全ての地域で増加し、県全域及び幡多、高知市、中央西、中央東、須崎で警報値を、安芸で注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	7.27	高知市、安芸、須崎、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	1.20	安芸、中央東で増加していますが、全体では減少しています。
RSウイルス感染症	↘	0.93	須崎、安芸で増加していますが、全体では減少しています。
手足口病	↗	0.77	安芸、須崎、高知市、幡多で増加し、安芸で注意報値を超えています。

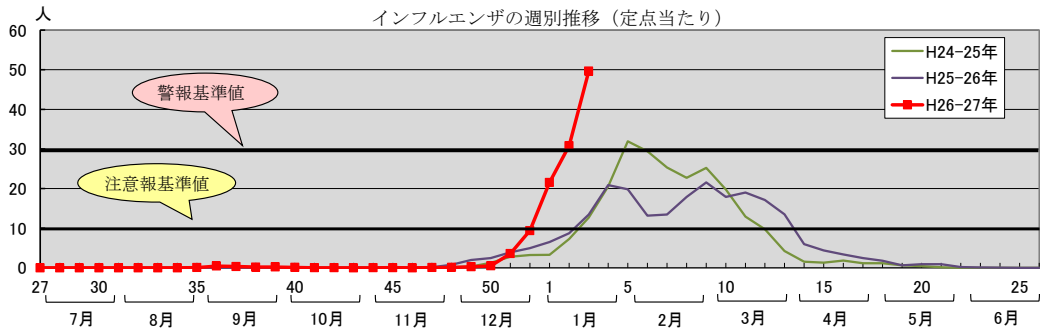
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

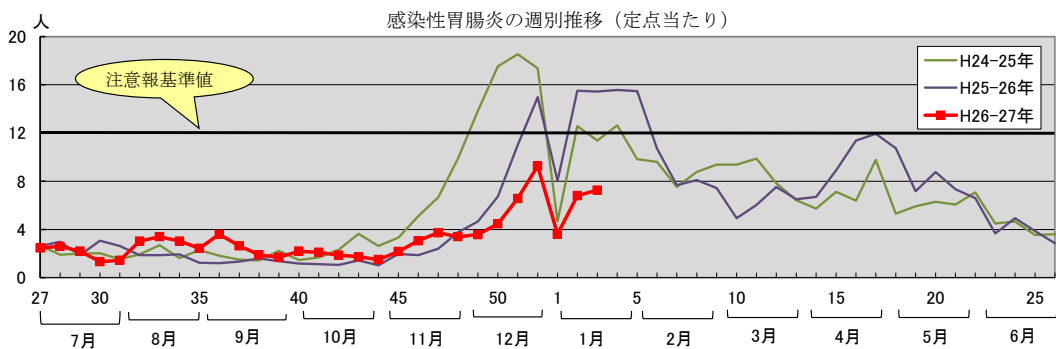
○インフルエンザ： **49.65** （注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 49.65（前週：30.81）と増加し警報値を超えています。地域別にみると、幡多（60.50：前週 30.00）高知市（60.44：前週 38.44）中央西（56.60：前週 43.00）中央東（40.09：前週 25.18）須崎（35.00：前週 20.75）では警報値を、安芸（17.00：前週 12.25）では注意報値を超えています。病原体定点からは Influenza virus AH3 NT が 9 例、Influenza virus B NT が 1 例検出されています。



○感染性胃腸炎： **7.27** （注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 7.27（前週：6.80）とほぼ横ばいです。地域別にみると、高知市（9.00：前週 8.55）安芸（8.50：前週 5.00）須崎（8.00：前週 7.50）中央東（6.86：前週 6.29）で増加しています。病原体定点からは Norovirus GII NT が 3 例、Sapovirus genogroup unknown が 2 例検出されています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	感染性胃腸炎	1	女	高知市	Norovirus GII NT Echovirus 3
3	インフルエンザ	8	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	9	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	7	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	42	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	8	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	7	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	67	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	7	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	3	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
3	インフルエンザ	6	男	須崎	Influenza virus B NT
3	感染性胃腸炎	5	女	須崎	Norovirus GII NT Sapovirus genogroup unknown
3	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT Sapovirus genogroup unknown
3	百日咳	7	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
3	百日咳	4	男	須崎	<i>Bordetella parapertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	アデノ、肺炎	10ヶ月	男	幡多	Adenovirus 2
2	手足口病	3	男	幡多	Coxsackievirus A16
2	急性気管支炎	1ヶ月	男	高知市	Echovirus 3
2	川崎病の疑い	11ヶ月	女	高知市	Respiratory syncytial virus A
2	不明発疹症	8ヶ月	女	須崎	Respiratory syncytial virus A

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	2	6	80歳代(女)	中央東
				90歳代(女)	須崎
4類	A型肝炎	1	1	50歳代(女)	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安芸	田野病院小児科	ノロウイルス感染症2例(10ヶ月女、1歳男)
中央東	あけぼの小児クリニック	インフルエンザウイルスA型75例、B型1例 RSウイルス感染症2例(8ヶ月、1歳)
	早明浦病院小児科	インフルエンザウイルスA型31例(2~15歳) RSウイルス感染症1例(1歳)
	野市中央病院小児科	インフルエンザウイルスA型1例(11歳男：ワクチン未接種)
	おひさまこどもクリニック	インフルエンザウイルスA型64例 (内発熱無しで陽性5例、発熱当日の検査で陽性23例、翌日再検で陽性1例)
高知市	高知医療センター	RSウイルス感染症1例(11ヶ月男) ノロウイルス1例(9ヶ月男) 病原性大腸菌3例(2、6ヶ月男、2歳女)
	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎1例(9歳男) アデノウイルス扁桃炎1例(0歳男) カンピロバクター腸炎1例(10歳女)
	細木病院小児科	ノロウイルス5例(1歳3人、5歳男、1歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザウイルスA型49例、B型4例 (内男21例、女32例：予防接種済み7例)
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎1例(3歳男：いの町) インフルエンザウイルスA型2例(4、6歳男：須崎市)
須崎	もりはた小児科	アデノ扁桃炎2例 2w百日咳1例(1歳男)
幡多	幡多けんみん病院小児科	hMPV 1例(1歳男)

★全国情報

第51週(12/15~12/21)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核334例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症16例

4類感染症：E型肝炎6例、A型肝炎3例、重症熱性血小板減少症候群1例、チクングニア熱2例

つつが虫病13例、デング熱4例感、日本紅斑熱3例、レジオネラ症26例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢14例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例

急性脳炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例

後天性免疫不全症候群13例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例

侵襲性肺炎球菌感染症33例、水痘(入院例に限る)2例、播種性クリプトコックス症1例

梅毒29例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん2例、麻しん1例

報告遅れ：E型肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例、急性脳炎6例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、播種性クリプトコックス症3例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例、
水痘（入院例に限る）6例

★インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられる。主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等から発生する飛沫による感染（飛沫感染）であり、他に飛沫の付着物から手指を介した接触感染もある。感染後、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「通常感冒」と比べて全身症状が強いことが特徴である。2014/2015年シーズンのインフルエンザは、2014年第52週（2014年12月22～28日：2015年1月6日現在）では定点当たり報告数が26.63となり、前週の定点当たり報告数15.17よりも大きく増加しており、全国的に幅広い年齢層で流行している〔インフルエンザの年別・週別発生状況（本号10ページ参照）〕。定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を、この1週間に受診した患者数を推計すると約138万人（95%信頼区間：134～142万人）となり、前週の推計値（約72万人）よりも増加した。インフルエンザによる入院患者数も定点から見られる流行状況と比例し、基幹定点からのインフルエンザ患者の入院報告数は710例であり、前週（378例）より増加した。全47都道府県で前週の報告数よりも増加が見られ、国内のインフルエンザの定点当たり報告数をみると、第50週まで主に東日本を中心に流行していたのが西日本へ広がり、第52週の定点当たり報告数では、埼玉県（48.13）、神奈川県（35.86）、福岡県（35.79）、岩手県（34.17）、長崎県（34.14）の順となり、地域的な拡大が認められた。また、報告数における年齢層の広がりが見られた。推計患者数より求めた年齢群では依然として5～9歳と10～14歳が中心であったが、その割合は約6割から4割と減少した。基幹定点からのインフルエンザによる入院患者数（インフルエンザ入院サーベイランス）は依然として60代以上が約半数を占めるが、推計患者数の推移と比例し、成人層での増加が見られた。

また、直近の5週間（2014年第48～52週）では依然としてAH3亜型の検出割合が最も多く（約98%）、次いでB型、AH1pdm09の順となっている（インフルエンザ流行レベルマップ第52週）。

例年のインフルエンザ流行のピークは1月末から2月上旬が多いが、2014/2015年シーズンはそれよりも早くなる可能性がある。また、今季はAH3亜型の検出割合が継続して高いが、流行地域の拡大や流行しているインフルエンザウイルス亜型の割合が変化する事もあり、発生動向には注意が必要である。インフルエンザの感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット（有症者自身がマスクをしたり、咳をする際にはティッシュやハンカチで口を覆う等の対応を行うこと）、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生といった対策を徹底することが重要である。高齢者における感染への警戒の観点から、医療・福祉施設へのウイルスの持ち込みを防ぐために、関係者が個人で出来る予防策を徹底すると同時に、訪問者等においては、インフルエンザの症状が認められる場合の訪問を自粛してもらう等の工夫が重要である。なお、65歳以上の高齢者、又は60～64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方は予防接種法上の定期接種の対象となっている。

（国立感染症研究所 感染症疫学センター）

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第3週 平成27年1月12日(月)～平成27年1月18日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第3週					計	前週	全国(2週)	高知県(3週未累計)		全国(2週未累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H26/12/29～H27/1/18	
インフルエンザ	インフルエンザ		68	441	967	283	140	484	2,383 (49.65)	1,479 (30.81)	163,716 (33.28)	4,896 (102.00)	264,424 (55.13)
小児科	咽頭結核熱				1				1 (0.03)	2 (0.07)	1,226 (0.39)	4 (0.13)	1,843 (0.60)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	2	21	1	2	8	36 (1.20)	52 (1.73)	5,669 (1.81)	105 (3.50)	7,894 (2.59)
	感染性胃腸炎		17	48	99	23	16	15	218 (7.27)	204 (6.80)	25,750 (8.20)	530 (17.67)	36,003 (11.82)
	水痘		1	5	9	1			16 (0.53)	16 (0.53)	3,445 (1.10)	44 (1.47)	5,137 (1.69)
	手足口病		4	5	8	2	2	2	23 (0.77)	17 (0.57)	807 (0.26)	59 (1.97)	1,255 (0.41)
	伝染性紅斑								()	1 (0.03)	1,383 (0.44)	2 (0.07)	1,670 (0.55)
	突発性発疹			4	8	2		2	16 (0.53)	19 (0.63)	1,344 (0.43)	38 (1.27)	1,783 (0.59)
	百日咳				1				1 (0.03)	()	26 (0.01)	1 (0.03)	36 (0.01)
	ヘルパンギーナ								()	()	61 (0.02)	()	105 (0.03)
	流行性耳下腺炎		11	1	8			1	21 (0.70)	13 (0.43)	1,348 (0.43)	42 (1.40)	1,763 (0.58)
RSウイルス感染症		2	9	9			7	1	28 (0.93)	47 (1.57)	3,459 (1.10)	104 (3.47)	5,889 (1.93)
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	13 (0.02)	()	15 (0.02)
	流行性角結膜炎								()	()	495 (0.73)	()	640 (0.96)
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	5 (0.01)	()	12 (0.03)
	無菌性髄膜炎								()	()	15 (0.03)	()	19 (0.04)
	マイコプラズマ肺炎			5				1	6 (0.75)	1 (0.13)	133 (0.28)	8 (1.00)	189 (0.40)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	5 (0.01)	1 (0.13)	7 (0.01)
	感染性胃腸炎								()	()	33 (0.07)	()	69 (0.15)
計 (小児科定点当たり人数)		105 (35.50)	515 (50.66)	1,136 (75.36)	312 (66.27)	167 (48.50)	514 (66.30)	2,749 (61.64)			208,933	5,834 (132.98)	328,753
前週 (小児科定点当たり人数)		70 (22.75)	350 (35.46)	796 (54.89)	247 (53.67)	109 (33.75)	279 (37.80)		1,851 (43.17)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第3週					計	前週	全国(2週)	高知県(3週未累計)		全国(2週未累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H26/12/29～H27/1/18	
インフルエンザ	インフルエンザ		17.00	40.09	60.44	56.60	35.00	60.50	49.65	30.81	33.28	102.00	55.13
小児科	咽頭結核熱				0.09				0.03	0.07	0.39	0.13	0.60
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	0.29	1.91	0.33	1.00	1.60	1.20	1.73	1.81	3.50	2.59
	感染性胃腸炎		8.50	6.86	9.00	7.67	8.00	3.00	7.27	6.80	8.20	17.67	11.82
	水痘		0.50	0.71	0.82	0.33			0.53	0.53	1.10	1.47	1.69
	手足口病		2.00	0.71	0.73	0.67	1.00	0.40	0.77	0.57	0.26	1.97	0.41
	伝染性紅斑									0.03	0.44	0.07	0.55
	突発性発疹			0.57	0.73	0.67		0.40	0.53	0.63	0.43	1.27	0.59
	百日咳				0.09				0.03		0.01	0.03	0.01
	ヘルパンギーナ										0.02		0.03
	流行性耳下腺炎		5.50	0.14	0.73			0.20	0.70	0.43	0.43	1.40	0.58
RSウイルス感染症		1.00	1.29	0.82		3.50	0.20	0.93	1.57	1.10	3.47	1.93	
眼科	急性出血性結膜炎										0.02		0.02
	流行性角結膜炎										0.73		0.96
基幹	細菌性髄膜炎										0.01		0.03
	無菌性髄膜炎										0.03		0.04
	マイコプラズマ肺炎			1.00				1.00	0.75	0.13	0.28	1.00	0.40
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01	0.13	0.01
	感染性胃腸炎										0.07		0.15
計 (小児科定点当たり人数)		35.50	50.66	75.36	66.27	48.50	66.30	61.64			132.98		
前週 (小児科定点当たり人数)		22.75	35.46	54.89	53.67	33.75	37.80		43.17				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869